

平成27年度3月補正予算の概要

平成28年3月萩市議会定例会

平成28年2月

萩市総務部財政課

■ 今回補正する会計及び各会計の補正予算額

補正予算を計上する会計は、一般会計（18事業のうち新規8事業）、国民健康保険事業（事業勘定）特別会計（4事業）、国民健康保険事業（直診勘定）特別会計（財源振替）、介護保険事業特別会計（1事業）の4会計で、全23事業（うち新規8事業）です。

補正予算を計上する会計	補正号数 (回数)	今回の補正予算額
一般会計	第4号	5億8,294万円
国民健康保険事業（事業勘定）特別会計	第3号	1億2,088万8千円
国民健康保険事業（直診勘定）特別会計	第2号	（財源振替）
介護保険事業特別会計	第3号	365万4千円
一般会計＋特別会計の補正予算額 計		7億748万2千円

■ 一般会計

1. 補正予算の概要

今回の補正は、国の補正予算（地方創生加速化交付金）を活用して世界文化遺産への理解を深め周知する事業、萩ジオパーク構想の推進と萩の豊かな大地と海の資源を活用する事業、定住対策として「ひと」と「しごと」を結びつける事業、また、国の補正予算によるマイナンバー制度の運用に伴う情報連携に当たり情報ネットワーク等のセキュリティを強化する事業、高齢の低所得者への年金生活者等支援臨時福祉給付金を給付する事業、さらに、総合事務所の庁舎を利用して民間と行政の協働による地域づくりを推進するための環境を整備する事業等、市勢の発展及び市民の生活を守るために必要な事業を計上するものです。

2. 補正予算額

補正前の予算額	補正予算額	補正後の予算額
328億2,836万2千円	5億8,294万円	334億1,130万2千円

※今回の補正は、全18事業（うち新規8事業）

3. 補正予算額の財源手当

歳入項目	補正予算額	備考
地方交付税	4,449万円	普通交付税
国庫支出金	4億910万9千円	
県支出金	8,212万1千円	
繰入金	3,264万2千円	基金繰入金
諸収入	547万8千円	雑入
市債	910万円	
合計	5億8,294万円	

4. 歳出予算の事業内容

◆職員人件費（3,264万2千円）

【予算説明書10ページ 一般管理費】
（担当課：総務課）

1月以降に職員から退職の申し出があったため、退職手当を補正します。

補正内容：退職手当

[財源内訳] 職員退職手当基金繰入金 3,264万2千円

◆<新規>世界文化遺産保全推進事業（508万4千円）

地方創生（加速化）

【予算説明書 10 ページ 世界遺産推進費】
（担当課：世界文化遺産課）

世界文化遺産「明治日本の産業革命遺産」の歴史的背景や世界遺産価値について、理解を深めるとともにこれを周知していくため、シリアル・ノミネーション（複数の連続性のある資産）統一のデザインによる説明板等を設置します。

また、より多くの来訪者が手軽に遺産の価値や歴史的背景の情報を取得し、他のエリアへの訪問を促す仕組みづくりとして、スマートフォン等で利用できるガイドアプリの開発等を行う世界遺産協議会に対して必要な経費を負担します。

- 事業内容：○世界遺産共通説明板等の設置
○世界遺産協議会負担金
- ・ 産業遺産ガイドアプリの魅力度、利便性向上等の追加機能開発（多言語化の拡充、クイズ形式の導入、地図アプリとの連携等）
 - ・ ガイドアプリの映像等を活用したDVDの制作
 - ・ ガイドアプリの利用促進を図るための印刷物等の制作

説明板等設置資産：萩反射炉 1基（他の構成資産分は、平成28年度当初予算計上）

〔財源内訳〕 総務費国庫補助金 508万4千円

◆<新規>自治体情報セキュリティ強化対策事業（3,160万1千円）

【予算説明書 10 ページ 情報政策費】
（担当課：情報政策課）

マイナンバー制度による情報連携は、地方自治体を相互に接続している「総合行政ネットワーク（LGWAN）」により実施されることから、セキュリティ強化のため総合行政ネットワーク接続系とインターネット接続系のネットワークを分離するとともに、マイナンバー関係業務を扱う端末機器について、事務従事者の本人確認を強化するために必要な経費を補正します。

- 事業内容：○総合行政ネットワークとインターネット接続系ネットワークの分離
○マイナンバー業務基幹系端末機器使用時の本人確認の二要素認証化（端末を使用する際に二つの要素の組み合わせにより従事者本人であることを確認する仕組み）

〔財源内訳〕 総務費国庫補助金 910万円
市債（補正予算債） 910万円
一般財源 1,340万1千円

◆＜新規＞総合事務所活用事業（580万9千円）

【予算説明書10ページ 支所及び出張所費】

（担当課：総務課）

民間団体において地域社会に密着した活動への機運が高まる中、地域に貢献するNPOや住民に身近なサービスを提供する団体の事務所を総合事務所内に設けることにより、公共施設に地域拠点としての機能を持たせるとともに、その活動が地域力の維持・向上につながるような取組を進めています。

総合事務所内に社会福祉協議会の事務所を置き、行政と連携した福祉の向上を推進し、農業協同組合の事務所と購買店舗を移転することで地域住民の利便性の確保を図ります。

また、NPO法人須佐元気なまちづくりネットの活動拠点を設け、生涯学習活動の推進、高齢者の生きがい支援、歴史・文化の継承などの取組を始めます。

これらの団体の移転等に当たり、総合事務所機能を確保するために必要な経費を補正します。

事業内容：庁舎改修工事ほか

総合事務所の活用：

- 川上地域 社会福祉協議会事務所の設置
- 田万川地域 社会福祉協議会事務所の設置
- むつみ地域 あぶらんど萩農業協同組合事務所、購買店舗の設置
- 須佐地域 NPO法人須佐元気なまちづくりネット事務所及び活動拠点、社会福祉協議会事務所の設置

〔財源内訳〕 一般財源 580万9千円

◆<新規>萩ジオパーク構想と大地と海の恵み活用推進事業

(3,805万7千円)

地方創生（加速化）

【予算説明書10ページ 旧萩藩校明倫館活用推進費】
【予算説明書10ページ ジオパーク推進費】
【予算説明書13ページ 農業振興費】
【予算説明書14ページ 商工業振興費】
(担当課：企画政策課/農林振興課/商工振興課)

本年の日本ジオパーク認定に向けて、市民や経済団体、教育機関等と一体となって萩ジオパーク構想を推進するとともに、萩の大地の恵みである肥沃な土壌と天然の好漁場から生み出される高品質な産物を活用した付加価値の高い「食」の研究開発や施設整備への支援など、地域住民の活力と萩の資源を活かした地域づくりに必要な経費を補正します。

事業内容：○萩ジオパーク構想の推進

- ・ジオパーク専門員の設置
- ・ジオパーク活動の支援

(萩ジオパーク構想推進協議会及び市民団体等が行うジオパーク活動、研究に対する支援等)

○大地と海の恵みを活用した産業振興

- ・萩の農水産物を使用した食材提供施設の厨房機器整備
- ・萩の豊かな大地を活かした農業振興と活動拠点施設整備
(旧小川体育館を活用した農業振興事業に対する支援)
- ・萩の農水産物を活用した加工品開発、メニュー開発に対する支援

[財源内訳] 総務費国庫補助金 2,100万円
商工費国庫補助金 500万円
農林水産業費国庫補助金 1,000万円
一般財源 205万7千円

◆個人番号制度導入事業（871万5千円）

【予算説明書 11 ページ 戸籍住民基本台帳費】
(担当課：市民課)

地方公共団体情報システム機構に一括委任されているマイナンバーカードの今年度の作成枚数が、国が想定していた当初の見込みを上回ることから、必要な経費を補正します。

事業内容：通知カード・個人番号カード関連事務交付金

[財源内訳] 総務費国庫補助金 871万5千円

◆補助金返還事業〈臨時福祉給付金関係事業分〉（446万円）

【予算説明書 11 ページ 社会福祉総務費】
（担当課：福祉政策課）

平成 26 年度の臨時福祉給付金事業費の確定に伴い、国からの超過交付分を返還するため、必要な経費を補正します。

事業内容：国に 446 万円返還します。

[財源内訳] 一般財源 446 万円

◆〈新規〉年金生活者等支援臨時福祉給付金給付事業(2億9,472万6千円)

【予算説明書 11 ページ 臨時給付金費】
（担当課：福祉政策課）

国の補正予算により、賃金引上げの恩恵が及びにくい低年金受給者への支援や高齢者世帯の年金も含めた所得全体の底上げを図る観点から、高齢の低所得者等を対象に「年金生活者等支援臨時福祉給付金」を支給するため、必要な経費を補正します。

対象者：平成 28 年度中に 65 歳以上となる高齢者のうち平成 27 年度市民税均等割が課税されていない方（市民税が課税されている者の扶養親族等及び生活保護の被保護者等を除く）

支給額：1 人につき 3 万円

[財源内訳] 民生費国庫補助金 2 億 9,472 万 6 千円

◆補助金返還事業<子育て支援関係事業分> (85万4千円)

【予算説明書 12 ページ 児童福祉総務費】
(担当課：子育て支援課)

平成 26 年度の子育て世帯臨時特例給付金の確定に伴い、国からの超過交付分を返還するため、必要な経費を補正します。

事業内容：国に 85 万 4 千円返還します。

[財源内訳] 一般財源 85 万 4 千円

◆<新規>子ども子育て電算システム改修事業 (38万9千円)

【予算説明書 12 ページ 児童措置費】
(担当課：子育て支援課)

萩市では新市施行以来、少子化への対応のひとつとして保育園同時入所 2 子目以降の保育料の無料化を継続してきました。国においても平成 28 年度から多子世帯支援の一環として、保護者の保育料負担軽減の対象を拡大することとしています。

萩市の独自施策である保育園同時入所 2 子目以降の保育料の無料化を継続するとともに平成 28 年度の国の保育料算定基準に対応するため、電算システムの改修に必要な経費を補正します。

事業内容：電算システム改修業務

国の制度内容：

○年収約 360 万円未満世帯

子どもの人数についての年齢制限を撤廃し、第 2 子目の保育料を半額、第 3 子目以降の保育料を無償化

○ひとり親世帯等

年収約 360 万円までの世帯の第 1 子目の保育料を半額、第 2 子目以降の保育料を無償化

[財源内訳] 民生費国庫補助金 19 万 4 千円
一般財源 19 万 5 千円

◆補助金返還事業<地域医療推進関係事業分> (337万6千円)

【予算説明書13ページ 保健衛生総務費】
(担当課：地域医療推進課)

医療従事者確保のための修学資金等について、支給を受けた方が支給要件を満たさなくなり返還があったことから、修学資金等の支給の財源であった山口県の地域医療再生基金に返還します。

事業内容：山口県に337万6千円返還します。

医療従事者就業資金(歯科衛生士)100万円(1名、平成25年度分)

薬学部学生修学資金 180万円(1名、平成24、25年度分)

看護学生修学資金 36万円(1名、平成25年度分)

准看護学生修学資金 21万6千円(1名、平成25年度分)

[財源内訳] 雑入(医療従事者確保事業補助金返還金) 337万6千円

◆補助金返還事業<農業農地関係事業分> (157万7千円)

【予算説明書13ページ 農業総務費】
(担当課：農林振興課)

平成26年度の中山間地域等直接支払事業交付金及び平成24年度から平成26年度の多面的機能支払事業交付金の交付対象面積の確定に伴い、超過交付分を返還するため、必要な経費を補正します。

事業内容：県に157万6,660円返還します。

[財源内訳] 雑入(中山間地域等直接支払事業交付金返還金) 5千円

雑入(多面的機能支払事業交付金返還金) 157万2千円

◆<新規>担い手確保・経営強化支援事業 (257万1千円)

【予算説明書13ページ 農業振興費】
(担当課：農林振興課)

意欲ある農業者の経営発展を促進するため、農業機械の導入支援に必要な経費を補正します。

事業内容：トラクター1台

事業主体：農事組合法人 日の出(田万川地域小川地区)

[財源内訳] 農林水産業費県補助金 257万1千円

◆機構集積協力金交付事業（5,840万5千円）

【予算説明書 13 ページ 農業振興費】
（担当課：農林振興課）

農業の生産性を高め、生産コストを削減することにより持続可能な農業を実現するため、担い手への農地集積・集約化を推進しています。農地集積・集約化を図るため農地中間管理機構にまとまって農地を貸し付けた地域及び農地の出し手に交付する協力金について、当初を上回る申請が見込まれるため必要な経費を補正します。

事業内容：機構集積協力金を交付

〔財源内訳〕 農林水産業費県補助金 5,840万5千円

◆<新規>萩・ひと・しごとマッチング推進事業（1,300万円）

地方創生（加速化）

【予算説明書 14 ページ 商工業振興費】
（担当課：商工振興課）

定住の動機として「希望する仕事」の存在は、大きな要因のひとつとなっています。萩市の企業等が求める「ひと」の情報と萩市での就職を希望する方が求める「しごと」の情報等を全国どこからでも結びつけることができるように、インターネットを利用した求職求人情報等の登録システムを構築します。

また、官民協働による「（仮称）萩・ひと・しごとマッチング協議会」を設置して、求職求人情報の共有や就職相談会の開催等の取組に必要な経費を補正します。

事業内容：○ひと・しごとマッチングシステム構築業務委託
○萩・ひと・しごとマッチング協議会補助金

〔財源内訳〕 商工費国庫補助金 1,300万円

■ 国民健康保険事業（事業勘定）特別会計

1. 補正予算の概要

今回の補正は、医療費の伸びが当初の見込みを上回ることから、一般被保険者の療養給付費、高額療養費及び高額医療費共同事業拠出金を増額するものです。また、各地域診療所の運営財源として交付される国の交付金については、この事業勘定特別会計の歳入で受け入れ、直診勘定特別会計に繰り出しています。この交付金が当初の見込みを上回ることから、繰出金を増額補正するものです。

また、平成27年4月の制度改正により、低所得者への保険料軽減の拡充に伴う保険者への財政支援が拡充されたことから、国・県の補助金を一般会計で受け入れ、一般会計負担分と合わせて、この事業勘定特別会計に繰り入れるとともに、保険財政共同安定化事業の制度改正の影響により、県特別調整交付金の配分が当初の見込を下回ることから、財源の調整を行うものです。

2. 補正予算額

補正前の予算額	補正予算額	補正後の予算額
84 億 5,623 万 2 千円	1 億 2,088 万 8 千円	85 億 7,712 万円

※今回の補正は、全4事業

3. 補正予算額の財源手当

歳入項目	補正予算額	備考
国庫支出金	5,000 万 4 千円	
県支出金	△7,320 万 9 千円	
繰入金	8,458 万 1 千円	一般会計繰入金
繰入金	5,951 万 2 千円	基金繰入金
合計	1 億 2,088 万 8 千円	

4. 歳出予算の事業内容

◆一般被保険者療養給付費給付事業（4,000万円）

【予算説明書26ページ 一般被保険者療養給付費】
（担当課：市民課）

一般被保険者の療養給付費が当初の見込を上回ることから、必要な経費を補正します。

事業内容：療養給付費の給付

[財源内訳] 療養給付費等負担金（国庫負担金） 1,281万7千円
財政調整交付金（国庫補助金） 360万5千円
財政調整交付金（県補助金） 238万7千円
一般財源 2,119万1千円

◆一般被保険者高額療養費給付事業（5,256万7千円）

【予算説明書26ページ 一般被保険者高額療養費】
（担当課：市民課）

一般被保険者の高額療養費が当初の見込を上回ることから、必要な経費を補正します。

事業内容：高額療養費の給付

[財源内訳] 療養給付費等負担金（国庫負担金） 1,684万4千円
財政調整交付金（国庫補助金） 473万7千円
財政調整交付金（県補助金） 313万6千円
一般財源 2,785万円

◆高額医療費共同事業拠出金事業（2,176万円）

【予算説明書27ページ 高額医療費共同事業拠出金】
（担当課：市民課）

山口県国民健康保険団体連合会が、市町国保財政の安定化のために運営している高額医療費共同事業について、当初の見込みを上回る高額医療費の伸びがあることから、拠出金の負担に必要な経費を補正します。

事業内容：高額医療費共同事業拠出金

[財源内訳] 高額医療費共同事業負担金（国庫負担金） 544万円
高額医療費共同事業負担金（県負担金） 544万円
一般財源 1,088万円

■ 国民健康保険事業（直診勘定）特別会計

1. 補正予算の概要

今回の補正は、国民健康保険事業（事業勘定）特別会計からの繰出金の受け入れに伴い、一般会計からの繰入金との財源調整を行うものです。

2. 補正予算額

補正前の予算額	補正予算額	補正後の予算額
7億8,762万7千円	—	7億8,762万7千円

※今回の補正は、財源振替

3. 補正予算額の財源手当

歳入項目	補正予算額	備考
繰入金	△656万1千円	一般会計繰入金
繰入金	656万1千円	事業勘定繰入金

4. 歳出予算の事業内容

財源振替のため、歳出予算補正はありません。

■ 介護保険事業特別会計

1. 補正予算の概要

今回の補正は、在宅のひとり暮らし高齢者等の自立した生活の継続を支援するとともに、安否の確認を行うことを目的として実施している給食サービスについて、当初の見込みを上回る利用があることから、必要な経費の補正を行うものです。

また、国の普通調整交付金の交付割合等が当初の見込みを下回ることから、財源の調整を行うものです。

2. 補正予算額

補正前の予算額	補正予算額	補正後の予算額
66億3,805万5千円	365万4千円	66億4,170万9千円

※今回の補正は、全1事業

3. 補正予算額の財源手当

歳入項目	補正予算額	備考
国庫支出金	△4,842万9千円	
繰入金	365万4千円	一般会計繰入金
繰入金	4,842万9千円	基金繰入金
合計	365万4千円	

4. 歳出予算の事業内容

◆生活支援・家族支援事業（365万4千円）

【予算説明書42ページ 包括的支援等事業費】
（担当課：高齢者支援課）

在宅のひとり暮らし高齢者等の自立した生活の継続を支援するとともに、安否の確認を行うことを目的として実施している給食サービスについて、当初の見込みを上回る利用があることから、必要な経費を補正します。

事業内容：生活支援給食サービス事業委託

〔財源内訳〕 一般財源 365万4千円